第3期厚沢部町障害者活躍推進計画

令和6年4月1日
厚沢部町教育委員会教育長

機関名	厚沢部町教育委員会
任命権者	厚沢部町教育委員会教育長 高野政人
計画期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年間）
厚沢部町教育委員会における障害者雇用に関する課題	厚沢部町教育委員会においては、職員総数が15人程度の機関であり、これまで障害者に限定した募集・採用は行っていない。 職員の大半は他機関からの出向者であり、これまで障害者が配属されることもなかったため、組織的な体制整備は特段行っていない。
目標	
①採用に関する目標	○障害者雇用の推進に関する理解を促進する。
②定着に関する目標	なし ※今後、障害者である職員の定着状況データを把握予定。
取組内容	
1. 障害者の活躍を推進する体制整備	○障害者雇用推進者として教育委員会事務局長を選任する。 ○障害者職業生活相談員の選任義務の有無に関わらず、障害者である職員の相談窓口を設定し、事務局内掲示等により周知する。 ○障害者職業生活相談員の選任義務が生じた場合には、3ヶ月以内に選任するとともに、当該選任しようとするものに障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させる。
2. 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出	○障害等により従来の業務遂行が困難となった障害者から相談があった場合は、労働局に相談しつつ、負担なく遂行できる職務の選定及び創出について検討する。
3. 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理	○相談窓口への相談のほか、人事評価面談の際、障害者である職員に対しては、必要な配慮等の有無を把握することとし、その結果を踏まえて検討を行い、継続的に必要な措置を講じる。

	<p>○なお、措置を講じるに当たっては、障害者からの要望を踏まえつつも、過重な負担にならない範囲で適切に実施する。</p>
4. その他	<p>○厚沢部町における障害者就労施設等からの物品等の調達方針に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて、障害者の活躍の場の拡大を推進する。</p>